

地震研究所一般公開・オープンキャンパス
地震研究所図書室所蔵資料展示
絵図に見る地震と土砂災害
～1847年善光寺地震～

2016年4月に発生した熊本地震では大規模な土砂災害が発生しました。地震による土砂災害は過去にも発生しており、1847(弘化4)年に発生した善光寺地震では、現在の長野県北部で大規模な山崩れが多発しました。今回の展示では、地震研図書室で所蔵している史料の中から、善光寺地震を描いた絵図を中心に紹介します。



こうかひのとひつじ
『弘化丁未春三月廿四日
信州大地震
やまくずれかわぶさがりみずにしずむ
山頼川塞湛水之圖』

善光寺地震で生じた大規模な土砂崩れの中で最大のものは、虚空蔵山(岩倉山)の崩壊でした。崩壊した土砂は犀川をせき止めて大きな湖をつくり、湖は後日決壊して下流に洪水を引き起こし、大きな被害をもたらしました。

鯰絵『江戸鯰と信州鯰』

大地震を表す「江戸」と「信州」の2匹の大なますが人々に襲われており、職人たちは人々をなだめています。



じしんこうせいぞくごのたね ちさいさつよう
『地震後世俗後之種』(『地災撮要』より)

地震により虚空蔵山(岩倉山)が崩壊し、犀川がせき止められて洪水が起きました。